

※14:00 同時配布

学研都市記者クラブ・大阪経済記者クラブ・京都経済記者クラブ・京都府政記者クラブ・奈良県政記者クラブ・
大阪科学大学記者クラブ・京都大学記者クラブ



けいはんな
リサーチコンプレックス

けいはんな学研都市



Keihanna Venture Championship グランドフィナーレ開催のご案内 ～けいはんな RC 発・ニューヨークに飛ばたくスタートアップを発掘～

2017 年 12 月 19 日

けいはんなリサーチコンプレックス

(公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構)

関西文化学術研究都市で世界に冠たるイノベーション創出に取り組むけいはんなリサーチコンプレックス(以下「けいはんなRC」、中核機関:関西文化学術研究都市推進機構)は、2017年7月に開始した海外と直結したアクセラレーションプログラムの一環として毎月開催してきましたピッチ^{※1}イベント「Keihanna Venture Championship」(以下「KVeCS」)の集大成であるKVeCSグランドフィナーレを、2018年1月19日(金)にけいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)で開催します。

※1 起業家が投資家向けに、資金調達等の目的で行うプレゼンテーション。ピッチ(投げかけ)を由来とするシリコンバレー発祥の言葉。

KVeCSグランドフィナーレ開催概要

1. 日 時 : 2018年1月19日(金) 13:00 - 18:00
2. 場 所 : けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) ホール
(京都府相楽郡精華町精華台7丁目5-1)
3. 対 象 : 一般(投資家、アントレプレナー等)
4. 参加費 : 無料(但し、17:00~18:00 の交流会にご参加の方は2,000円要)
5. 主 催 : けいはんなリサーチコンプレックス 後 援 : 特定非営利活動法人インデペンデンツクラブ
6. 詳細・申込 : <http://keihanna-rc.jp/kvecs/top/>

【KVeCSグランドフィナーレとは】

けいはんなRCは、2017年7月から12月までBrain-Tech、LifeScience、IoT、ICT、Robotics等の分野のスタートアップによるピッチイベント「KVeCS」を毎月開催してきました。KVeCSグランドフィナーレは、2017年のKVeCSの集大成。グランドチャンピオンと準グランドチャンピオンには、ニューヨーク市最大級のアクセラレータ「Entrepreneurs Roundtable Accelerator」(以下「ERA」)が提供する特別プログラムと、米国投資家等へのピッチ登壇の権利が与えられます。



Step.1
毎月のピッチ会
(KVeCS)



Step.2
メンタリングによる
ブラッシュアップ



Step.3
KVeCS
グランドフィナーレ



Step.4
海外特別プログラム
ERAの特別プログラム
に参加

KVeCSの各回で優勝または特別賞を受賞した11組のスタートアップ(下記参照)は、けいはんなRCのメンター陣によるメンタリング※2でピッチやビジネスモデルを更に磨き、KVeCSグランドフィナーレに挑みます。そして、KVeCSグランドフィナーレのグランドチャンピオンおよび準グランドチャンピオンは、ERAによる約1週間の特別プログラムをニューヨーク市にて受講後、米国投資家等にピッチを行い、資金調達などを目指します。

※2 英語ピッチメンタリングやビジネスモデルブラッシュアップメンタリングなど

----- KVeCSグランドフィナーレ登壇11組(順不同、詳細は別紙①参照) -----
マゼランシステムズジャパン株式会社(兵庫県尼崎市)、ミツフジ株式会社(京都府相楽郡)、株式会社ミュー(滋賀県大津市)、知能技術株式会社(大阪府大阪市)、株式会社パシフィックウェーブ(京都府舞鶴市)、株式会社メタバース(京都府京都市)、株式会社PIJIN(東京都中央区)、株式会社パノラマニア(京都市上京区)、株式会社バイオーム(京都市下京区)、株式会社Keigan(京都府相楽郡)、株式会社amirobo tech(奈良県生駒市)

【Entrepreneurs Roundtable Accelerator(ERA)とは】

ERAは、ニューヨーク市の主要産業に跨る投資専門家、技術者、製造スペシャリスト、マーケティング専門家、顧客獲得戦略家、営業幹部など300名以上から成るメンターネットワークを持つ、市最大級のアクセラレータです。ERAではスタートアップの早期発展を目的とした集中型プログラムを提供しており、関わったスタートアップはこれまでに2億ドル以上を調達しています。

【けいはんなリサーチコンプレックスについて】

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」の実施拠点として、30周年を迎えたけいはんな学研都市の32機関が参画し、i-Brain(脳・人間科学技術)とICT(情報科学技術)をコアとする技術開発、プロデュースマインドを持った人材の育成、大学・研究機関・大手・中堅・中小企業・ベンチャー・地域住民の共創によりイノベーションの連鎖を自律的に引き起こす「イノベーション・エコシステム(生態系)」の構築に取り組み、「人が渦巻くけいはんな」、「高収益事業が生まれるけいはんな」、「世界へ飛翔するけいはんな」の実現を目指しています(別紙②参照)。



■本件 プレスリリースに関するお問合せ

けいはんなリサーチコンプレックス <http://keihanna-rc.jp/>

広報担当: 浜渦

Email: kvecs@keihanna-rc.jp TEL:0774-95-1176 FAX:0774-95-1178

京都府相楽郡精華町光台 2-2-2(株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)事業開発室)

取材申込書

本イベントについて当日取材をご希望の場合は、FAXで事前にお申込みください。尚、イベント前のお問い合わせ、取材につきましては、電話、メールで随時承っております。

●申込締切: 2018年 1月 17日 (水) 17:00

●FAX : 0774 - 95 - 1178

所属(社名)	
取材者氏名	
当日連絡先(携帯電話)	
メールアドレス	
カメラ機材 (該当に○印)	スチール / ムービー / 無し
カメラクルー人数 (該当する場合)	名
駐車場のご利用有無 (有りの場合、台数もご記入ください)	有り(台) / 無し

ご記入いただいた情報は、本取材に関する目的にのみ使用いたします。

【けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) へのアクセス】

■京都から

「京都駅」→近鉄京都線「新祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車

■大阪から

「京橋駅」→JR 学研都市線「祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車

「本町駅」→中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車

「難波駅」→近鉄奈良線「生駒駅」→けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車

詳細は右 URL からご確認ください (<http://kick.kyoto/access/>)

KVeCSグランドフィナーレ登壇企業11社リスト

企業(所在地)	主な製品/サービス	カテゴリ	登壇者
マゼランシステムズ ジャパン株式会社 (兵庫県尼崎市)	超高感度・高精度衛星測位システム(GNSS)に 関わる研究開発・製品販売	IoT	 岸本 信弘
ミツフジ株式会社 (京都府相楽郡)	銀メッキ繊維を用いたウェアラブルセンサー の提供	IoT & i-Brain	 三寺 歩
株式会社ミュー (滋賀県大津市)	ヒレをもつ錠剤タイプの自走カプセル内視鏡 の開発、製造、販売	Life science & ICT	 大塚 尚武
知能技術株式会社 (大阪府大阪市)	AI自動運転と人の判断の良さを組み合わせた 半自動搭乗型走行ロボットの開発	Robotics & i-Brain	 大津 良司
株式会社 パシフィックウエーブ (京都府舞鶴市)	床ずれ対策に必要な「ずれの対策」を解決した 素材と寝具の製造、卸販売	Life science	 田中 啓介
株式会社メタバーズ (京都府京都市)	Bot(チャットボット)と人工知能サービス接続 ソリューションの提供	ICT	 島谷 直芳
株式会社PIJIN (東京都中央区)	ユーザー端末の言語設定を認識する翻訳文 表示ソフトウェアの提供	IoT	 松本 恭輔
株式会社パノラマニア (京都市上京区)	パノラマ映像の実写VRカメラの世界標準品 を創出	Robotics	 二宮 章
株式会社バイオーム (京都市下京区)	生物をコレクション・共有するアプリと、アプリ で蓄積された生物分布のビッグデータを提供	Life science & ICT	 藤木 庄五郎
株式会社Keigan (京都府相楽郡)	素早く簡単にロボットをつくるための モーターモジュール型製品「Keigan Motor」の 開発製造、販売	IoT & Robotics	 徳田 貴司
株式会社amirobo tech (奈良県生駒市)	ユーザーの日常的な発話機会を創出し、より 健康的な国民を増やすことに貢献するTV雑談 システム「だべらいぶ」の展開	Robotics	 澤邊 大志

敬称略 順不同

けいはんなリサーチコンプレックス

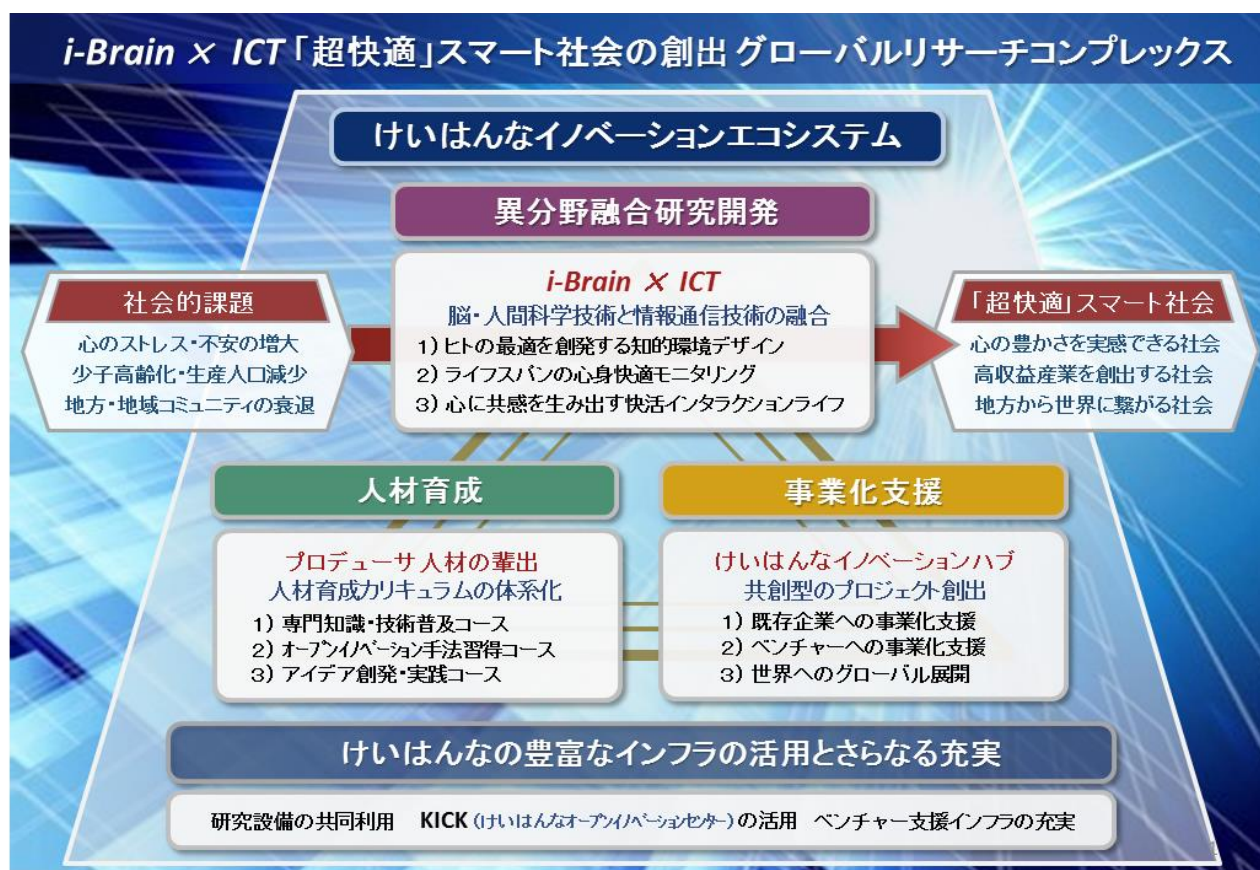
(中核機関：公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構)

i-Brain × *ICT* 「超快適」スマート社会の創出 グローバルリサーチコンプレックス

■ 概要

現在の日本はさまざまな社会的課題を抱えています。特に、人口減少に伴う社会全体の閉塞感が大きな課題であり、少子高齢化・労働人口の減少による活力低下、地方の衰退、市場縮小による経済活動の停滞が生じています。このような時代背景の中で、人々は「モノの豊かさ」より「ココロの豊かさ」を求めるようになっていきます。この「ココロの豊かさ」を実現するのが、『「超快適」スマート社会』であり、心に感動・活力・共感を生み出す社会の創出が目標です。

「けいはんな」のリサーチコンプレックスでは、*i-Brain*（脳・人間科学技術）と *ICT*（情報通信技術）を技術開発のコアと捉えています。*i-Brain*はヒトの心理・行動・脳・生体情報データ解析に基づいてココロを定量的・客観的に捉える技術群を指し、これに AI、ビッグデータ解析、IoT などの最先端 *ICT* を融合し、「ココロの豊かさ」を創出する技術開発を目指します。この技術開発により社会課題の解決を図ると共に、新たな事業を創生して経済活動の活性化に寄与していきます。



具体的な研究開発の取り組みとして、①オフィスにおける知的生産性向上、病院・介護現場でのストレス緩和などをもたらす知的環境デザイン、②赤ちゃんから高齢者に至る各ライフステージの心身快適モニタリングによる衣食住イノベーション、③非言語コミュニケーション技術によるヒトの心に寄り添う次世代ロボット・次世代遠隔コミュニケーションシステムの開発、を掲げています。

これらの技術開発に加えて、プロデュースマインドを持った人材の育成、大学・研究機関・大手・中堅・中小企業・ベンチャー・地域住民の共創によりイノベーションの連鎖を自律的に引き起こす「イノベーション・エコシステム（生態系）」の構築に取り組み、「人が渦巻くけいはんな」、「高収益事業が生まれるけいはんな」、「世界へ飛翔するけいはんな」の実現を目指します。

■参画機関（順不同：2017年6月末時点）

公益社団法人関西経済連合会、株式会社アロマジョイン、オムロン株式会社、木村工機株式会社、京セラ株式会社、株式会社京都銀行、株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、サントリーホールディングス株式会社、株式会社島津製作所、ジャトー株式会社、スキルインフォメーションズ株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、日本電信電話株式会社 NTT コミュニケーション科学基礎研究所、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社、株式会社プロアシスト、株式会社プロキダイ、ミツフジ株式会社、大阪大学、京都大学、東京大学、同志社大学、奈良県立医科大学、国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）、京都府、大阪府、奈良県、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

■「リサーチコンプレックス推進プログラム」の概要

このプログラムは、文部科学省と科学技術振興機構（JST）が推進する事業です。その概要は以下の通りです。

『リサーチコンプレックスとは、地域において集積している研究機関、企業、大学などがそれぞれの活動を融合させ、世界の注目を集める、異分野融合による最先端の研究開発、



成果の事業化、人材育成を一体的・統合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤です。

本プログラムでは、5年後、10年後からその先に実現すべき地域の姿や社会的価値をビジョンとして描き、その実現に向けたリサーチコンプレックスの取り組みを支援し、また、地方創生にも資することを目的としています。』（JST のホームページより）

けいはんなリサーチコンプレックスは、平成28年9月にこのプログラムに採択されました。

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 <https://www.kri.or.jp/>
超快適スマート社会推進室・けいはんなリサーチコンプレックス事業事務局
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ ラボ棟3F
TEL：0774-95-5047 FAX：0774-95-5234 E-mail：info@keihanna-rc.jp
「けいはんなリサーチコンプレックス」ホームページ <http://keihanna-rc.jp/>